

令和6年度 第(/)回議事録

(G) グループ年間テーマ:

身体抑制に関する事

令和 6 年 6 月 8 日提出

開催日	令和 6 年 6 月 8 日 (土)		
開催場所	九州大学医学部百年講堂		
出席者 (敬称略)	永野病院 大倉 五月	正智心身病院 山口 省吾	松原内科病院 廣田 望未
	誠愛リハビリテーション病院 川崎 裕子	福岡知仁会病院 三山島 奈美	若杉病院 早瀬 陽子
記録者名	川崎 裕子		
テーマ	スタッフに知ってもらう 身体抑制		
結論	<ul style="list-style-type: none"> 身体抑制のミソや本質等となくすことも検討したいが、スピーチロック等のスタッフへの周知も必要だと思ふ。 スピーチロックについて知ってもらうことで、具体的には抑えとして、抑制が減らせるのではないかと。 スピーチロックと具体的な抑制について、知らせていながら、まよひていく方針とする。 		
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> 身体抑制について、それぞれ調べてくる スピーチロックについての認知度も含め調べてくる。 		
備考			
次回討論項目	上記内容 どちらに重点をあたえるか検討する。		

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-Mail:jimukyoku@famcf.jp Fax:092(725)3219

※2023年08月よりFax送付先が変更になっています。ご注意ください※